

「平成 30 年度 全国社会就労センター総合研究大会（青森大会）」分科会（事業部会等）
討議（ディスカッション）テーマ及び報告者

第 1 分科会：生保・社会事業部会

テーマ「生保・社会事業授産施設を再考する～施設運営と地域貢献の実践から～」

- ・ 多種多様な生保・社会事業授産施設の利用者の状況と、支援を展開するうえでの運営上の工夫について
- ・ 実施している生産活動の内容と売上の維持・拡大に向け実践している取り組みについて
- ・ 地域共生社会の実現に向けて、「地域における公益的な取組」が社会福祉法人に求められる中で、生保・社会事業授産施設の特長を生かした取り組みについて

〔報告者〕 関 祥男 氏（愛知県/名古屋厚生会館クリーニングセンター 理事・施設長）

第 2 分科会：雇用事業部会

テーマ「A型事業所における“福祉の強みを生かした”高賃金の実現と生活支援の充実について」

- ・ 施設・事業所における営業力向上のための組織編成について
- ・ 「高賃金の実現」と「生活支援の充実」の両立が求められるA型事業所における現場職員の課題について
- ・ 平成 30 年度障害福祉サービス報酬改定に関する課題について

〔報告者〕 花宮 良治 氏（大分県/ソレイユ 施設長）

※第 2 分科会の参加にあたっては、**事前調査シートの提出**をお願いいたします。

フォーマットは下記よりダウンロードしてご記入ください。

http://www.selp.or.jp/info/temp/180604_01.xlsx（事前提出アンケート）

http://www.selp.or.jp/info/temp/180604_02.xlsx（基本情報確認票）

第 3 分科会：就労継続支援事業部会

テーマ「地元産業との連携や地域貢献活動を工賃向上につなげよう！」

- ・ 平成 30 年度報酬改定が実施され、「工賃向上」が就労継続支援 B 型事業の果たすべき課題であることが明確になったことを受け、「農福連携」「地域貢献」をキーワードに工賃向上につながる実践について学ぶ。

※第 3 分科会についてはグループ討議ではなく、パネルディスカッション形式で進行します。

〔パネリスト〕・塚本 圭 氏（岩手県/(福)平成会 理事長）

・舟山 信悟 氏（福島県/(福)けやきの村 けやきの村 施設長）

・岩松 剛 氏（山形県/山形県リハビリセンター 業務課長補佐）

〔コーディネーター〕 寺口 能弘 氏（就労継続支援事業部会長）

第 4 分科会：就労移行支援事業部会

テーマ「平成 30 年 9 月 30 日までに開始する「就労定着支援事業」～事業開始に向けたマイルストーン～」

- ・ 平成 30 年 9 月 30 日（就労定着支援体制加算の廃止）までに就労定着支援事業を開始するための必要な手続きを共有する。
- ・ 就労定着支援事業についての各事業所の現状や疑問点を共有する。
- ・ 平成 30 年 4 月より、精神障害者が障害者雇用義務の対象に加わったことを受け、精神障害者の支援における課題について共有・理解を深める。

〔報告者〕玉城 由美子 氏（大阪府/かしま障害者センターLink 支援課長）

第 5 分科会：生産活動・生活介護事業部会

テーマ「高齢期を迎えた障害者の生活をいかに支えるか～共生型サービス事業スタートにあたって～」

- ・ 平成 30 年 4 月からの改正障害者総合支援法施行による共生型サービスのスタートを受け、指定を受けるための準備や運営方法、各自治体の現状と課題等について情報を共有する。
- ・ 平成 29 年度センター長研修会（名古屋）の部会の中でも共生型サービスについて多くの質問が出されたことから、引き続き、本事業の活用に向けて不明点等の理解を図る。

〔報告者〕※調整中

※第 5 分科会の参加にあたっては、**事前アンケートの提出**をお願いいたします。

アンケートは下記よりダウンロードしてご記入ください。

http://www.selp.or.jp/info/temp/180521_03.docx

第 6 分科会：くらす検討会

テーマ「働くを支える“くらす”の場における支援のあり方について考える」

- ・ グループホーム、施設入所支援、福祉ホーム等の住まいの場において、就労系事業所で日中活動されている方、一般就労されている方を支援するうえでの課題や工夫について
- ・ 世話人、生活支援員等のくらすの場に従事する職員に求められる資質や知識・技能について

〔報告者〕松井 宏昭 氏（千葉県/（社福）青葉会 理事長）